

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム けやき

目標達成計画

作成日: 令和 2年 1月 25日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	26	利用者の変化について気づきの把握を連携する	申し送りノート・看護記録・ケース記録の徹底 記録物の徹底	:出勤時には夜勤記録、業務日誌を読み込み 各利用者の現状を把握する。 :各利用者の申し送りの確認 :報告・連絡・相談の徹底	6ヶ月
2	18	季節ごとの大きな節目には外出の機会を計画しているが、日常生活の中での外出や地域との触れ合いが少ない	日々の生活の中に利用者が楽しめる時間、空間を作る	:正月等の大きな節目は、定期的に早めに計画 :ボランティアの活用 ::日々の生活の中個々楽しみの把握を行っておく	12ヶ月
3	11	利用者の重度化している	身体的、精神的な変化について主治医と連携	:各利用者の現状を申し送りや・ケース記録等により、職員、看護師は把握し、変化について、主治医などとの連携を密に行う。	12ヶ月
4	13	利用者の身体的、精神的な状況が重度化している、職員のケアの質の向上が必要となっている。	認知症実践者・認知症リーダー各ユニット2名 職員の介護技術、認知症についての理解	:認知症実践者・・・入社2年以上(介護福祉士) :認知症リーダー・・・入社3年以上(認知症実践者終了者) :外部研修参加 :社内研修の充実	12ヶ月
5					

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。